

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益財団法人 あいである

事業実施の概要

本年度「実家便TM」事業は、6月発送分として前年度からの継続支援491個に加え、新規として200個の募集を行い審査の上200個を発送した。

「お金の管理に関するレクチャー」事業は、6団体の募集を行い、2施設からの応募があり対面でのレクチャーを実施した。

これら支援事業の支えとなる経常収益は、受取寄付金¥16,074,742をはじめとして、賛助会費¥640,000、ラッシュジャパンチャリティバンク及び公益財団法人お金をまわそう基金からの助成金¥814,924、利息を含め、¥17,529,689であった。また、実家便支援について、フードバンクからの商品提供はコロナ禍の影響もあり貧困家庭等への支援強化により他へ分散する傾向が強いが、協賛企業からの支援によって従前以上に内容物の充実を図ることができた。

平成28年児童福祉法改正を受けた「新しい社会的養育ビジョン」で施設退所者へのアフターケアの強化が明示され児童養護施設に自立支援担当職員の配置が進む中で、「実家便」事業は、各児童養護施設による自立支援プログラムのひとつとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。また、「実家便」を利用した施設職員からの情報共有などによって新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。

「お金の管理」に関するレクチャーについては、施設職員にレクチャーを行い、各施設にて子どもたちとお金の管理について学ぶ機会を持ってもらうことを推奨している。コロナ禍にあっても、施設を退所する子どもがお金の管理について学ぶ必要があることに変わりはないが、感染予防の観点から施設訪問を控えざるを得ない状況が続いていた。レクチャーの申請は受けており、感染が落ち着いた中で施設訪問によるレクチャーを実施することができた。レクチャーの意義や進行の仕方などを紹介する動画をレクチャー訪問の前に当該施設に配布し事前に見てもらうことで、レクチャーへの理解が深まるとの話も聞けており、さらなる活用の仕方をレクチャー現場でヒアリングしながら検討している。成人年齢の18歳への引き下げにより、施

設退所者が巻き込まれやすいことや、新しい決済システムを使う際の心構えなどを、マネークリップレクチャーの中に取り入れられないかとの相談を自立支援担当職員から聞く機会が増え、その対応としてレクチャーカードの追加制作を行い、レクチャー実施施設に必要な有無を確認し発送を行った。重ねて、レクチャー紹介動画についても紹介をし、希望の施設に配布を行った。

おこづかいれんしゅうの実施については、施設職員へのヒアリングで、「必要性を感じているものの、現状では退所を控えた子どもたちへのレクチャーを優先したい」との意向は変わらないが、施設退所後の進路について子どもと話す機会に、自活に向けて必要なお金をアルバイト代から貯めることなども話す必然性から、おこづかいれんしゅうレクチャーが、退所に向けた準備について子どもと共有するツールのひとつになるのではないかとの話も聞いており、継続してヒアリングを行うこととする。

引き続き現状の課題を意識し、公益目的事業を効果的・効率的に実施し、財団設立の目的を果たすべく次年度の事業につないで参ります。

1.社会的養護出身者への自立支援に資する事業【実家便】

(1) 応募状況

新規分として、200 個の募集を行った。

前年同様HPに募集案内を掲載したところ 235 名の応募があった。

(2) 選考内容

・受付後、書類審査

支援施設 76

申請人数 235

決定 200

決定外 35・・・家庭復帰 3、他の福祉サービス受けている 7、住所不定 1、すでに申請済 5、
募集終了後の申請 19

(3) 支援状況

1. 6 月は、新規 200 名、継続 491 名あてに合計 691 個を発送した。12 月は、28 名が生活環境の変化などにより支援辞退となり、663 個の発送となった。施設へ送付 294、本人に直送 1,060。今期で 108 名は支援終了となった。

2.社会的養護児童への自立支援に資する事業【お金の管理に関するレクチャー】

(1) 応募状況

新規 6 施設の募集を行い、2 施設から申請があった。

(2) 支援状況

・2 団体に対面でのレクチャーを行った。茨城県：1 箇所、岡山県：1 か所

・レクチャーカードの追加制作・発送 11 か所

・レクチャー紹介 DVD 発送 6 か所

3.組織運営

開催日	名称	審議事項（主要議案抜粋）	審議結果
令和 4 年 6 月 3 日	第 1 回 理事会	(1) 第 1 号議案 令和 3 年度決算、事業報告承認の件 (2) 第 2 号議案 定時評議員会の開催の件 議題：第 1 号議案 令和 3 年度決算、 事業報告承認の件 第 2 号議案 理事選任の件	承認 承認
令和 4 年 6 月 17 日	第 1 回 評議員会	(1) 第 1 号議案 令和 3 年度決算、事業報告承認の件 (2) 第 2 号議案 理事選任の件	承認 承認
令和 4 年 7 月 28 日	第 2 回 理事会	(1) 第 1 号議案 主たる事務所移転の件 (2) 第 2 号議案 定款変更の件 (3) 第 3 号議案評議員会の開催に代えて書面による評議員会決議の省略手続を行う件 議題：①主たる事務所移転の件 ②定款変更の件 ③評議員会の決議があったとみなされる日の件 (4) 第 4 号議案 理事会の決議があったとみなされる日の件	承認 承認 承認 承認
令和 4 年 8 月 5 日	第 2 回 評議員会	(1) 第 1 号議案 主たる事務所移転の件 (2) 第 2 号議案 定款変更の件	承認 承認

		(3) 第3号議案 評議員会の決議があったとみなされる日の件	承認
令和5年2月9日	第10回 諮問委員会	(1) 実家便内容物の検証 (2) 実家便報告書の検証 (3) 実家便最終支援者に関する施設からの報告書検証 (4) レクチャー報告書の検証 (5) レクチャー内容の検証	承認 承認 承認 承認 承認
令和5年3月10日	第3回 理事会	(1) 第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の件 (2) 第2号議案 レクチャー事業運営規程改定承認の件 (3) 第3号議案 評議員会の開催の件 議題：第1号議案 理事選任の件	承認 承認 承認
令和5年3月20日	第2回 評議員会	(1) 第1号議案 理事選任の件	承認

4.役員等の現況（令和5年3月31日時点）

①評議員

	氏名	区分	就任年月日	現職等
評議員	飯塚 良成	非常勤	令和3年6月18日	飯塚公認会計士税理士事務所 代表
評議員	太田 一平	非常勤	平成27年10月20日	社会福祉法人和敬会 理事長、 児童養護施設八楽児童寮 施設長
評議員	安岡 利朗	非常勤	平成27年4月1日	株式会社オールワンエージェント 代表取締役社長

評議員	若杉 千秋	非常勤	令和3年6月18日	水津正臣法律事務所 弁護士
-----	-------	-----	-----------	---------------

②理事

	氏名	区分	就任年月日	現職等
理事長	木皿 昌司	常勤	平成27年4月1日	有限会社オー・ケイ・コーポレーション 代表取締役

理事	笠作 真一郎	非常勤	平成27年4月1日	株式会社オールワンエージェント 取締役
理事	下田 隆二	非常勤	平成27年4月1日	株式会社エス・エス・ティ 代表取締役社長
理事	中村 安志	非常勤	平成28年8月26日	日本リビング保証株式会社 事業部長
理事	羽山 倅子	常勤	平成27年4月1日	公益財団法人あいである 事務局長
理事	渡辺 修三	非常勤	令和元年6月21日	一般社団法人フライングエステート 代表理事
理事	三浦 保	非常勤	令和4年6月17日	株式会社オールワンエージェント 代表取締役副社長

③監事

	氏名	区分	就任年月日	現職等
監事	相楽 行孝	非常勤	平成 27 年 4 月 1 日	相楽行孝税理士事務所 代表

④諮問委員

	氏名	区分	就任年月日	現職等
諮問委員	坂本 輝子	非常勤	平成 28 年 3 月 2 日	特定非営利活動法人社会的養護で 育つ子どもたちの地位向上ネットワーク 理事 社会福祉法人友興会 評議員 株式会社 QPC サービス 代表取締役
諮問委員	坂本 博之	非常勤	平成 28 年 3 月 2 日	こころの青空基金 代表
諮問委員	柴山 英士	非常勤	平成 28 年 3 月 2 日	前埼玉育児院 院長
諮問委員	村井 美紀	非常勤	平成 28 年 3 月 2 日	東京国際大学 人間社会学部講師、准教授

令和4年事業報告 附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

令和5年5月15日
公益財団法人あいである